



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社

コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 眞二

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 経営管理本部長兼経営企画部長 (氏名) 中 研悟 TEL 06-7655-5000

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,030	△4.5	△580	—	△519	—	△355	—
2023年3月期第1四半期	4,222	△3.5	△283	—	△248	—	△130	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △286百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △163百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△3.51	—
2023年3月期第1四半期	△1.29	—

(注) 2023年3月期第1四半期の数値は、前第3四半期からの表示方法の変更の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	17,268	13,864	80.3
2023年3月期	18,049	14,252	79.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 13,864百万円 2023年3月期 14,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	3.4	880	9.5	880	2.9	530	3.1	5.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	101,295,071株	2023年3月期	101,295,071株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	507株	2023年3月期	477株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	101,294,579株	2023年3月期1Q	101,294,684株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前第3四半期連結会計期間より、これまで「営業外収益」の「受取手数料」に含めて計上しておりました自社割賦に係る金利収益を「売上高」に含めて計上する表示方法の変更を行っております。当該変更に伴い、以下の経営成績に関する説明における前年同期比及び前年同期の諸数値につきましては、表示方法の変更の内容を反映させております。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう美と健康に関する多彩なサービスを提供する『美の総合総社』の実現に向け、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品並びに、マタニティ及びベビー関連商品、婚礼・宴会関連事業、美容関連事業など、新たな商品・サービスの拡充を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行が実施され、行政による行動制限の緩和が進み、個人消費の回復が期待されたものの、世界的な原材料費の高騰に伴う物価の上昇や、国際情勢の緊迫、円安の急伸などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような環境のもと、当社グループにおいても、コロナ禍における巣ごもり需要の需要ショックの影響の他、観光レジャーへの消費が活発化するなど、個人消費の多様化に伴い、既存顧客の客単価が低下し、売上が一時的に減少いたしました。

一方、消費者の活動活発化により、外出機会の増加や脱マスクが進み、女性の美意識が高まるなか、Webを中心としたプロモーションを強化した結果、新規顧客の来店数が大幅に増加いたしました。さらに、成長に向けた販売体制強化のために、従業員の給与体制の見直しや、採用などの先行投資を実施した結果、店舗従業員数が順調に増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高40億30百万円（前年同期比4.5%減）、営業損失5億80百万円（前年同期は2億83百万円の営業損失）、経常損失5億19百万円（前年同期は2億48百万円の経常損失）、法人税等調整額（△は益）として△1億91百万円を計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失3億55百万円（前年同期は1億30百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの概要は次のとおりであります。

[婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間において、個人消費の多様化により、既存顧客の客単価が低下したことにより、売上が一時的に減少いたしました。

一方、お客様の活動活発化の背景を受け、Webプロモーションの強化や、自社コンテストイベント「マルコ シンデレラ ストーリー アワード2023」の開催など、新規顧客獲得のための投資を積極的に実施し、さらに、販売体制を強化するため、従業員の給与体制の見直しや、採用などの先行投資を実施した結果、利益が減少いたしました。

以上の結果、売上高は34億95百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント損失は4億95百万円（前年同期は2億19百万円のセグメント損失）となりました。

[マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、国内出生数が統計開始以来、過去最少となるなど、依然として厳しい状況のもとで推移いたしました。

そのような環境の中、ターゲット顧客のニーズをより正確に把握するためのテストマーケティングを実施し、商品の差別化戦略による商品単価アップを図り、収益改善に努めた結果、新商品の売上高、売上総利益は共に増加いたしました。

一方、新たな市場でのシェア獲得に向け、中国最大級のECモール（Tmall）への出店を推進するなど、先行投資を実施した他、既存商品の在庫の適正化による商品評価損を計上したことにより、利益が減少いたしました。

以上の結果、売上高は2億66百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント損失は48百万円（前年同期は33百万円のセグメント損失）となりました。

〔婚礼・宴会関連事業〕

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの飲食事業の運営が主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、コロナ禍で自粛していた企業の宴会やイベントが再開される中、会場の利用促進に向けた法人営業を強化した結果、売上は回復基調で推移いたしました。

一方、営業体制及び顧客対応力の強化に向け、人員を増加するなど、先行的に投資を行った結果、利益が一時的に減少いたしました。

以上の結果、売上高は1億12百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント損失は34百万円（前年同期は32百万円のセグメント損失）となりました。

〔その他〕

その他においては、美容関連事業などが主要事業であります。

当第1四半期連結累計期間においては、スタイリストの採用と育成が着実に進み、収益基盤の強化を促進した結果、売上は堅調に推移し、増収となりました。

一方、売上拡大に向けた人員強化に伴う先行投資を行った結果、利益においては一時的に減少いたしました。

以上の結果、売上高は1億66百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期は0円のセグメント利益）となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は112億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億71百万円減少いたしました。これは主に、前払金の増加、未収入金の増加、現金及び預金の減少、売掛金の減少の結果によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は60億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億90百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産の増加、退職給付に係る資産の増加、建物及び構築物の増加、無形固定資産の減少の結果によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は28億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億83百万円減少いたしました。これは主に、買掛金の減少、未払法人税等の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は5億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは主に、資産除去債務の減少の結果によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は138億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億88百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び剰余金の配当による利益剰余金の減少の結果によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,556,645	1,996,572
売掛金	5,005,114	4,454,870
商品	1,199,559	1,180,383
原材料及び貯蔵品	156,536	161,398
関係会社短期貸付金	3,000,000	3,000,000
その他	456,340	521,568
貸倒引当金	△62,165	△74,097
流動資産合計	12,312,030	11,240,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,091,731	2,133,472
その他（純額）	1,628,148	1,633,813
有形固定資産合計	3,719,879	3,767,285
無形固定資産	373,585	351,898
投資その他の資産		
その他	1,754,021	2,021,871
貸倒引当金	△110,093	△113,406
投資その他の資産合計	1,643,927	1,908,465
固定資産合計	5,737,393	6,027,649
資産合計	18,049,423	17,268,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,115,751	823,329
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	276,560	54,333
賞与引当金	220,225	68,480
ポイント引当金	80,000	85,000
株主優待引当金	211,014	209,111
資産除去債務	12,454	25,820
その他	1,229,002	1,495,421
流動負債合計	3,245,008	2,861,498
固定負債		
資産除去債務	486,344	476,592
その他	65,703	66,000
固定負債合計	552,048	542,593
負債合計	3,797,056	3,404,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	1,108,108	651,012
自己株式	△82	△86
株主資本合計	14,073,364	13,616,264
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	179,002	247,989
その他の包括利益累計額合計	179,002	247,989
純資産合計	14,252,367	13,864,254
負債純資産合計	18,049,423	17,268,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,222,752	4,030,643
売上原価	1,012,129	972,333
売上総利益	3,210,622	3,058,310
販売費及び一般管理費	3,493,768	3,638,443
営業損失(△)	△283,146	△580,132
営業外収益		
受取利息	16,591	30,666
受取手数料	11,993	10,841
その他	7,645	21,554
営業外収益合計	36,230	63,063
営業外費用		
支払利息	140	141
租税公課	1,249	1,579
その他	392	262
営業外費用合計	1,783	1,982
経常損失(△)	△248,699	△519,052
特別利益		
受取補償金	25,035	—
償却債権取立益	—	27
その他	2,907	—
特別利益合計	27,942	27
特別損失		
減損損失	245	—
災害による損失	20,765	—
固定資産除却損	1,189	200
賃貸借契約解約損	—	51
特別損失合計	22,201	251
税金等調整前四半期純損失(△)	△242,958	△519,276
法人税、住民税及び事業税	△14,641	28,302
法人税等調整額	△97,891	△191,777
法人税等合計	△112,533	△163,474
四半期純損失(△)	△130,425	△355,801
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△130,425	△355,801

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△130,425	△355,801
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△33,038	68,986
その他の包括利益合計	△33,038	68,986
四半期包括利益	△163,463	△286,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△163,463	△286,815
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

これまで「営業外収益」の「受取手数料」に含めて計上しておりました自社割賦販売に係る受取手数料は、前第3四半期連結会計期間より「売上高」に含めて計上する方法に変更いたしました。

当社グループでは顧客の商品購入に際しての負担を軽減することを目的とした販売方法として自社割賦販売を導入しており、販売を通じて得られる受取手数料は商品販売に付随する業務から得られる収入として営業外収益として表示しておりました。しかし、前第3四半期連結会計期間より、自社割賦販売を戦略的に取り入れる経営方針に転換することとなりました。そのため当社グループの自社割賦販売から生じる受取手数料の獲得は主要な営業活動の成果の一つとして位置づけたことに伴い、営業活動の成果を適切に反映するために表示方法を変更するものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取手数料」38,869千円の内、26,875千円は、「売上高」26,875千円に組み替えております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,723,011	264,934	77,494	4,065,439	157,312	4,222,752
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	350	—	15,257	15,607	50	15,657
計	3,723,361	264,934	92,751	4,081,047	157,362	4,238,409
セグメント利益 又は損失(△)	△219,226	△33,190	△32,638	△285,055	806	△284,249

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	4,222,752
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△15,657	—
計	△15,657	4,222,752
セグメント利益 又は損失(△)	1,103	△283,146

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,103千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,495,302	266,837	102,031	3,864,171	166,472	4,030,643
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	350	—	10,129	10,479	—	10,479
計	3,495,652	266,837	112,161	3,874,651	166,472	4,041,123
セグメント利益 又は損失(△)	△495,117	△48,753	△34,821	△578,691	△2,521	△581,213

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	4,030,643
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△10,479	—
計	△10,479	4,030,643
セグメント利益 又は損失(△)	1,080	△580,132

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,080千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、これまで「営業外収益」の「受取手数料」に含めて計上しておりました自社割賦に係る金利収益は、「売上高」の「その他の収益」に含めて計上する方法に変更したため、事業セグメントとの利益または損失の算定方法を同様に變更しております。